



KUROKO LETTER

一般社団法人黒衣 〒485-0812小牧市城山3-3サンコート桃花台A-1-4  
電話：0568-65-6789 Fax：0568-65-6969

七十点以上の

人間になりたいもんだ！

**完全無欠**な人間などあり得ないと思う。

だから、人間として一つのことには正しい（成功）こともあれば、時にはあやまち（失敗）もあるだろう。それは、人間としてやむを得ないことというか、いわば当たり前のだと思ふ。

しかし、あやまちと正しいことを通算して、正しいことのほうが多くなるような働きなり、生活なりを持たなければ、やはり人間として望ましい姿とは言えないのではないだろうか…。

かりに私を点数で表すとどうなるのであるろう。三十点のマイナス面はあるが、少なくともプラスの面も七十点ある、というようなところまでには到達するよう、日々努力したものである。

現にいろんな方々と一緒に仕事をしているが、百点に近いような人間より、七十点をウロウロしているほうが、人間ぽくって私は好きだ。



なぜなら、同じ匂いがする人間だから…。

代表 岡 良伸

利用者様からの手紙

河合明子様より

主人を家で看取ってくださり、心からお礼申し上げます。早く御礼を出さなければならぬと思いつながりながらやっと筆を取ることができました。

主人は、入院をして手術をした後、急に認知症が進み点滴も取り外してしまうほどでした。食事もお世話込み、徐々に摂れなくなり、どんどん痩せてしまう姿を見てあまりにも可哀そうだったので、息子たちに「家に連れて帰りたい！」と話したところ、「年を考えなさい、もし連れて帰るなら最後まで面倒を見なさい」と叱られました。でも、あまりにもみじめで可哀そうな主人を見て勇気を出して家へ連れて帰りました。

いざ家に帰ったら、介護の大変さがよくわかりました。倒れると石より重く「よいしょよいしょ」といっても動きません。簡単に持ち上げるて何を**何百万払っても**欲しいとも思いました。少し目を離れたすきに車いすから玄関へ転げ落ち、風呂場では7回も転び、引きずってこようと思っても全く動きもしない。本人は「痛い痛い」というばかり。毎日が介護戦争でした。介護する妻が夫を殺すニュースがありましたね。当たり前だと思ってしまいました。在宅の先生は「もういいでしょう、施設に行くかい？」と本人に伝えると、「夫婦は一緒にいるものだろう」と言い返している様子を見て胸が苦しくなりました。

認知症もさらに進み、食事も全くとれなくなり黒衣さんが来てくれることになりました。主人の体を“ひょい”と転がし、毎日体をきれいに拭いたり、口の中をきれいにしたり、ウンチが出なかったときに指で出してくださったときはびっくりしました。オムツの簡単な交換の仕方も教えてもらいました（略）。

毎日主人に明るく声掛け嫌な顔せず行っている様子は、一人で苦しみながら行っていた私にとって“神様”のようでした。

最期は苦しむことなく静かに逝ってくれました。亡くなる前の日、髪をベッドの上で洗い、体をきれいに拭き、着替えをしていただき、本当に気持ちが良かったことでしょう。一晚二人きりで顔を見ながら一緒に眠りました。私は家に連れて帰ってきたことを後悔していません。そう思えるのも黒衣さんのお陰です。本当に本当にありがとうございました。



## スタッフ紹介 その4 「夏・熱くなった瞬間！」

私が病院で勤務していた時のお話です。

I様は、ALS（筋委縮性側索硬化症）で気管切開し人工呼吸器がつながり、手足首から先までは少し動く程度で寝たきりに近い状態でした。I様は常々退院を希望されており、半年ぶりに一時帰宅をすることができ、私が帰宅の際付き添いをしたときのことです。

「お帰りなさい！」自宅に到着すると3人の訪問看護師が待っていました。

いつも眉間に皺を寄せていた様が口パクで「ただいま」と入院中一度も見せたことのない満面の笑みを浮かべて言いました。大きなワンちゃんがうれしそうに様のそばをうろうろし、奥様が穏やかな表情で見守ら

れる中、訪問看護師さん達は、I様が到着するや否や、何を指示しなくとも手際よくケアを

されていました。I様は終始笑顔で、私に一人一人訪問看護師さんを紹介もしてくださいました。私は様の姿に驚きを隠せませんでした。その時の笑顔と皆さんの明るく楽しい雰囲気がいまだに忘れられません。

住み慣れた場所や人・ペット・ものに囲まれ生活することがどれだけの安心と喜びを与えるのかを、一つひとつ実感した特別な日でした。心から笑っている様のお顔を見た時、看護師としてどうあるべきなのかと自分に問いかけ、**心があつくなった瞬間**でした。今でもあの日のことを胸に、あの時の訪問看護師さん達のように利用者様一人一人を笑顔にできる「魔法」が使えるよう、日々修行に励んでいます！



看護師  
水野 芳美  
みずの よしみ

待ちに待った夏がやってきました。今年の太陽もやっぱり熱い光を振りまいていますね。その為に、滝のように汗が流れ落ちていますが、それでも私は夏が大好きです。なぜなら…

かき氷？アイスクリーム？もちろん大好物ですが…で・は・な・く、すくっと立ち上がった茎から太陽のような大輪の花をつけ、真夏の太陽を追うように花の向きを変える植物といえば…そうです。「向日葵（ひまわり）」なんです。猛暑の中、太陽にも負けない明るい色と、凛として清らかで美しいたたずまいに、引けを取らない強い生きざまを感じてしまった私は「ひまわり」を見ると胸が熱くなります。さらに熱くなる

「ひまわり」の代表的な花言葉と言えば、「**私の目は、あなただけを見つめている**」です。

情熱的でドキドキしてしまう言葉ですよ。皆さんも愛する人に伝えてみませんか？

その勇気で小さな幸せがやって来て、体が「幸せ体質」になれるよう、私も今日からチャレンジします。

私にとっての「ひまわり」は、弱った時や負けそうになった時に心に力を与えてくれますし、観ているだけで明るく元気にさせてくれる大切な存在です。

これからも黒衣の一員として皆様に「ひまわり」のような、まんまる笑顔でお会い出来る日を心より楽しみにしております。今後ともよろしく願いいたします。



介護福祉士 脇崎 貴子  
わきざき たかこ



### 新事業のお知らせ ~私の想いを形に~



YouTube 公開中  
今すぐアクセス！



看護小規模多機能居宅介護事業 「**黒衣のかんたき**（仮称）」を令和2年5月にオープン！

「**黒衣のかんたき**」は、小牧市より土地開発許可を受け、8月5日12時より地鎮祭を行います。場所は大草中111番地です！ 工事着工は翌日からになります。

☒進捗情報は、黒衣たよりで適宜お知らせします♪ **一次回の黒衣たよりは10月になります。**